

図書館だより SAKUらいぶ

作新学院大学

令和4年4・5月号

作新学院大学女子短期大学部 図書館



創刊100号

記念号

「SAKUらいぶ」は、
2008年4月創刊以来
100号となりました。

知の迷宮で会いましょうーBecause nobody is perfectー

作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 教授（図書館長） 坪井 真

昨年の東京パラリンピックは、アスリートたちの競技だけでなく、私たちが暮らす社会を飛行場に見立てた開会式も高く評価されました。その中心となる演出は、飛ぶことを諦めた片翼の小さな飛行機が多種多様な仲間たちの支援を受け、やがて大空に飛び立つというストーリーです。このストーリーは、様々な解釈が可能だともおもいます。たとえば、障がいのある人が社会的に自立するため、人びとの支えあい・助けあいが重要であると表現しているのかもしれませんが、また、社会を構成する全ての人たちが共通の目的意識で連携・協働する必要性も読み取れます。一方、開会式のストーリーは、人間の多様性が排除されている現実の社会を示唆しているのではないのでしょうか。

社会学者の野村一夫さんによれば、特定の人たちを社会的に排除する人びとの意識は社会心理現象（差別・偏見など）とといいます。このうち、偏見は「新しい知識に遭遇しても取り消さない」点が特徴であり「非知性的・非反省的」な社会心理現象とされます。

東京パラリンピックの開会式で派手なデコトラに乗り、仲間たちと演奏した布袋寅泰さんには『NOBODY IS PERFECT』という曲があります。曲のタイトルが示すとおり、この世に完璧な人間はいないとおもいます。だからこそ、私たちは「新しい知識」に遭遇する機会が必要なのではないのでしょうか。本学図書館で「新しい知識」に出会い、皆さんの知性と感性を磨いてください。

参考・引用文献：野村一夫（1998）『社会学感覚【増補版】』pp.435-444

図書館入口のディスプレイには！

図書館入口から入っていただくと、すぐに「大型ディスプレイ」があるのはご存じですか？

実は、ここには入館するにあたっての重要な情報が表示されているのです。



① PCの使用状況

図書館内には、院生ブース・グループ学習室・ふれあいルームに学生の皆さんがいつでも学修に利用できるPCが15台あります。ディスプレイを見るとその使用状況が分かります。右上の写真撮影時はすべて水色表示になっているので、これはどのPCも使用できるということです。既に使用されているPCは赤色表示になります。PCで学修を進めたいと思って図書館を訪れた時には、まずこの表示を見ることがお勧めです。PCの使用や部屋の混雑状況が一目で分かりますので、是非ご利用ください。

② 図書館の利用方法・開館時間

ディスプレイの右側には、図書館利用方法やその日の開館時間が表示されています。利用方法画面はスライドショーになっていて、館内案内・本の探し方・利用上の留意点等が順次示されます。初めて図書館を利用される際は、是非ご覧ください。

開館時間については、曜日や行事等のかかわりで変わっていますので、図書館HPやこの「SAKUらいぶ」でご確認ください。

図書館入門ツアー開催

図書館は、知の宝庫と言われます。授業の予習、復習、レポート作成に役立つ専門書・学術書・電子ジャーナルなどいろいろ配置しています。本学で学びを進める絶好の場所なのです。

そんな図書館の利用方法を、簡単に理解することができる「図書館入門ツアー」を下記の日程で開催いたします。

どうぞ、お気軽にご参加ください。



開催日

5月6日(金) 7日(土) 9日(月) 10日(火)

いずれも12時30分~12時50分(昼休み)

場 所 図書館2F入口にお集まりください

対 象 本学学生(1年生以外でも大丈夫です)

・・・申込みの必要はありません。・・・

旅と読書

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 学長

渡邊 弘

私は、学生時代からこれまで教育と文学と歴史に興味を持ち、加えて人間性豊かな人物をとりあげて研究してきました。その研究の際に必ず心がけていたことがあります。それは、旅と読書を結びつけて学ぶということです。すなわち、その作者が過ごした場所や作品の舞台となっている自然や風土を肌で感じ味わうことにより、その作者や作品をより深く理解できるということです。たとえば、生きとし生けるものを数多く句に詠んだ小林一茶と雪深い北信濃の風土、数多くの童話や詩を残し教師でもあった宮澤賢治と自然豊かな花巻や盛岡、『怪談』『知られぬ日本の面影』の著者で教師でもあった小泉八雲と日本の伝統が色濃く残る城下町松江などです。また、私は20代後半から30代には、近代教育の父と呼ばれるスイスのペスタロッチに憧れて『シュタンツだより』や『隠者の夕暮れ』などの著書をもって史跡をたどったり、あるときは『森の生活』の著者で有名なソローの思想に共感して彼が一人で住んでいたボストン郊外のコンコードにある小さな住まいを車で訪れたりしたこともありました。今振り返れば、どれも有意義で楽しかった思い出ばかりです。

旅と読書を結びつけて学ぶことは、ある意味贅沢なことかもしれませんが、しかし、人間の素地を耕し、自身の研究を深化させていくためには大変重要ではないかと考えます。今はコロナ禍でなかなか旅も難しいと思いますが、コロナが終息しましたらぜひ好きな本をたくさんカバンに詰めて旅に出かけてみてください。きっと新しい世界が広がると思います。

らび Question

新幹線100系物語

080/Ch 1564 より出題

100系の残したも

2020年7月、(①)が東海道・(②)新幹線で営業運転を開始した。2020年代の(③)として活躍することは間違いないが、100系の技術や(④)がどのように受け継がれているかをうかがうため、(⑤)の100系から設計に携わり、(①)では設計開発の責任者を務めた JR 東海執行役員の(⑥)を訪ねた。

・・・編集者より・・・東海道新幹線は、0系・100系・300系・500系・700系と進化を続けてきました。その中で、100系は2階建て食堂車・グリーン車が編成に組み入れられていて、進化した新幹線第1号だったので、日本が世界に誇る新幹線の技術に思いをめぐらしていただけると嬉しいです。

図書館の本から出題しています。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。今年度中に全問正解を3回達成した方に、記念品を贈呈します。



開館カレンダー






2022年4月・5月

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

	午前9:00～午後6:00
	午前9:00～午後5:00
	午前9:00～午後2:00
	午前9:00～午後1:30
	休館日

引き続き、一般の方のご利用をお断りしています。

ご理解の上、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染状況により、開館予定が変更になる場合があります。最新の状況については、図書館HPをご確認ください。

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

Tel 028-670-3651・3652

Fax 028-670-3619

E-mail tosyo@sakushin-u.ac.jp

URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

